

5分ずつ
学ぼう

新 任 者 向 け

認 定 調 査 員 研 修

前編

規定時間等の確認と留意事項

規定時間
できるかな



1 規定時間等の確認と留意事項

1-5 座位保持 10分間

▶ 「背もたれ」が必要かどうか。

⇒ 必要であれば、
「3.支えてもらえばできる」

▶ 「日頃から」できるかどうか。

実際に行ってもらった状況と

日頃の状況が違う場合、

より頻回な状況に基づき、

選択した根拠を具体的に書きましょう。



1 規定時間等の確認と留意事項

1-6 両足での立位保持 10秒間

▶ 「介助者の支え」 が
必要かどうか。

⇒ 必要であれば、
「3.できない」



1 規定時間等の確認と留意事項

1-7 歩行 5m程度（連続して）

- ▶途中で立ち止まったり、休憩が必要な場合

⇒ 「3.できない」

- ▶片腕で杖をつき、逆の腕を介助者が支えて歩行できる場合

⇒ 「2.何かに掴まればできる」

※リハビリ訓練中は、日頃の状況ではない → 定義に含まない



1 規定時間等の確認と留意事項

1-9 片足立位 1秒間程度

▶ 「介助者の支え」が必要かどうか。

⇒ 必要であれば、「3.できない」



1 規定時間等の確認と留意事項

1-12 視力

- ▶ 「**新聞や雑誌などの文字**」が見えるかどうか。
(日常生活に支障がない程度の視力)



⇒ 見えれば、1を選択。

● 見えなければ「**視力確認表**」で評価

→ 1 m離れた「視力確認表」が見える場合
： 2を選択

→ 1 m離れた「視力確認表」は見えないが、目の前のものが見える場合： 3を選択

1 規定時間等の確認と留意事項

2-12 外出頻度

1 回概ね30分以上の外出

- ▶ 徘徊や救急搬送、敷地内のデイや診療所等への移動

⇒ **外出とは考えない**

- ▶ 過去1か月の間に状態が大きく変化した場合

⇒ **変化後の状況で**選択****

